

## 令和2年度 学校図書館評価シート

足立区立中川北小学校 校長 笹原 天平

## 1 学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11261冊（蔵書基準冊数 9960冊）／ 蔵書率 113%									
	② 新規購入図書 510冊／ 廃棄図書 112冊／ 増減冊数 398冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.23%	3.34%	11.58%	18.04%	22.05%	9.58%	6.46%	7.57%	1.56%	17.59%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間：8：45～15：25									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数 39.98冊（前々年度：39.96冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 87.7%									

## 2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

- ①読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付けることができた。  
 ②学校図書館の本や図書から目的に応じて必要な情報を収集し、自身の考えを深め、表現・活用できる能力を培うことができた。  
 ③学校図書館を効果的に活用し、課題解決を図ることのできる主体的な学習態度を育てることができた。

## 3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	①絵本など読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、図書を利用して調べようとする態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
①朝の読書や学校図書館を使う授業で、読み聞かせをし、本に興味を持つ。 ②学校図書館を使う授業により、本を手にとる機会が増え、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館や地域の図書館（佐野図書館）の利用の仕方を知る。					①各クラス4回以上、読書等の授業を学校図書館にて行う。 ②朝の読書や国語の並行読書、読書月間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。 ③佐野図書館で本を借りる体験を1回する。					
目標達成状況										
①各クラス月3回以上、読書等の授業を学校図書館で実施することができた。 ②朝の読書や国語の並行読書、読書月間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読むことができた。 ③緊急事態宣言期間や図書館改修の期間が長く、図書カードを作成して貸し出しの体験をさせることはできなかった。										
第2学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、親しみ楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。									
今年度の成果目標					達成基準					
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。					①各クラス月3回以上、読書や探求活動、教員・児童による読み聞かせを学校図書館で行う。 ②読書月間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。					
目標達成状況										
①各クラス月3回以上、読書や探求活動、教員・児童による読み聞かせを学校図書館で行うことができた。 ②読書月間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読むことができた。										

<b>第3学年</b>	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②資料や情報を集めるために、進んで学校図書館を活用する態度を養い、集めた情報を活用する力を育てる。 ③きまりを守って、学校図書館を利用する。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①自分の好きなものや事柄をきっかけに、関連する本から読書の楽しみ方を見出し、読書する意欲を育てる。 ②辞典や図鑑等から分かったことを、相手に伝わりやすくするために図や絵、表にまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、静かに読書を行うことができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を、学校図書館で行う。 ②読書月間を利用して、年間25冊以上の本を読む。 ③本を活用して、調べる学習を国語の時間に設定する。

<b>目標達成状況</b>	
①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を、学校図書館で行うことができた。 ②読書月間を利用して、年間25冊以上の本を読むことができた。 ③本を活用して、調べる学習を国語の時間に設定し、レポートにまとめることができた。	

<b>第4学年</b>	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 様々な分野の本を読み、読書することの楽しさを味わわせ、自分の興味ある本の幅を増やしていく。 ② 辞典や図鑑から情報を収集・活用し、それらを説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書を行うことができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間を利用して、年間1人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに学年児童の70%以上が参加する。

<b>目標達成状況</b>	
①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ②読書月間を利用して、年間1人あたり20冊以上の本を読むことができた。 ③休業期間があったため、調べる学習コンクールについての事前指導する時間を十分にとることができなかった。そのため、学年児童の50%の参加となってしまった。	

<b>第5学年</b>	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について適切な本を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 年間一人あたり25冊以上の本を読む。 ② 調べる学習コンクールに学年児童が75%以上参加する。 ③ 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。

<b>目標達成状況</b>	
①年間一人あたり25冊以上の本を読むことはできた。 ②休業期間があったため、調べる学習コンクールについての事前指導する時間を十分にとることができなかった。そのため、学年児童の50%の参加となってしまった。 ③各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことはできた。	

<b>第6学年</b>	① 読書の楽しさや有効性を実感しながら、日常生活の中で主体的、継続的に読書を行うようにする。 ② 読書によって多様な視点から物事を考えることができるようになると気づくことができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 興味のある事柄について適切な本を選び、読書することができる。 ② 本や新聞など複数の資料を活用しながら調べたり考えたりしたことを報告する。 ③ 読書をしながら自分を支える言葉を見つけたり今までになかった考えを発見したりする。	① 年間一人あたり 25 冊以上の本を読む。 ② 調べる学習コンクールに学年児童の 75%が参加する。 ③ 学校図書館を利用して、共感する言葉や新しい考えに触れたことを友達に紹介する授業を行う。
<b>目標達成状況</b>	
①年間一人あたり 25 冊以上の本を読むことができた。 ②調べる学習コンクールに学年児童の 100%が参加することができた。 ③学校図書館を利用して、共感する言葉や新しい考えに触れたことを友達に紹介する授業を行うことができた。	

#### 4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

##### 【蔵書・配架等に関すること】

- ①新しい教科書の内容に対応する図書のリストを作成し、購入を進めた。
- ②分野を広げた図書購入を進めることを示した上で購入希望図書を募集し購入を行った。
- ③ソーシャルディスタンスを考えた図書館配置を計画し、併せて棚の整理を進めた。

##### 【学校図書館支援員との連携・協働】

- ①読み聞かせや本の紹介、図書館オリエンテーションを実施し、支援員の協働に取り組むことができた。
- ②調べ学習や授業資料など、図書館に関することについて積極的に支援員と連携・相談を行うことができた。コロナ禍での学校図書館運営について、相談・連携を行った。

##### 【その他】

- ①図書館マップの作成とその掲示位置を見直し、児童がより利用しやすい学校図書館となった。

#### 5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

感染症拡大防止のための臨時休業・分散登校中に、三密を避けて学校図書館が安全に利用できるように計画・整備を進めた。その結果、支障なく学校図書館を利用した読書活動を推進することができた。その際、学校図書館支援員のアドバイスや支援は大変役立った。

週時程に朝読書を週4回設定し、教員・児童とも全員が読書する時間を設けた。その結果、読書が習化した。また、読書冊数も目標に達することができた。

図書館支援員や図書委員会の児童による学校図書館廊下掲示が常に工夫されており、児童が本を選ぶ際に大変参考になっていた。広い分野の本を手取るきっかけとなっていた。

臨時休業中も、学校図書館の本を「福袋」（3冊本を入れ、キャッチコピーを付けた本の福袋）の貸出を行った。多くの児童が利用し、保護者にも大変好評であった。

調べる学習コンクールについては、事前指導が十分ではなかった。次年度は、学校図書館を効果的に活用し、課題解決を図ることのできるよう、事前指導の時間を設ける。

#### 6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

#### 7 今後の展望 ー課題や問題点への改善・対応方針を踏まえてー

「読書通帳」の活用、朝読書の設定などを通して、読書活動の推進を図る。

コロナ禍でソーシャルディスタンスに配慮した閲覧機の配置、選びやすい書架の配置を工夫し、学校図書館環境を整備していく。地域・保護者も学校図書館の環境整備には、関心がある。50周年記念事業として、学校図書館の整備を行う予定である。地域・保護者の力も借りて、読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付けることのできる学校図書館を目指していく。